

CLO(物流統括責任者)の役割と物流改革をテーマにした パネルディスカッションを YouTube 公式チャンネルで公開 ～ゲストを迎え、物流の未来を語る新番組がスタート～

SG ホールディングスグループでロジスティクス事業を展開する佐川グローバルロジスティクス株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:坂上公彦)は、6月10日よりYouTube公式チャンネルにおいて、新番組「物流未来会議」の配信を開始しました。初回となる今回は、有識者3名をパネリストとして迎え、「CLO※が主導する組織の壁の超え方」をテーマとした番組を公開しました。



番組出演者



番組サムネイル

本番組は全4回にわたって公開予定のシリーズ企画であり、視聴者から事前に寄せられた質問に登壇者が回答する形式で、今回公開した第1回では、CLO(Chief Logistics Officer)の役割や、組織横断で進める物流変革のポイントについて議論しました。物流業界の経営層・実務責任者をはじめ、サプライチェーン改革や組織変革に関心をお持ちの皆さまに向けて、実務的なヒントをお届けします。

▶ 番組本編はこちら(無料) : URL <https://youtu.be/OXj1G5-g0o0>

タイトル: 物流未来会議 「CLO が主導する組織の壁の超え方 ～CLO/物流統括管理者の役割と、現場力×DX が創る次世代ロジスティクス～」

■ 背景

2024年問題をはじめとする物流業界の構造的課題が顕在化する中、サプライチェーン全体での連携・効率化の重要性が高まっています。「改正物流効率化法」の施行により、企業内で物流・サプライチェーンを統括するCLOの役割が注目されています。

一方で、CLOが十分に機能するためには、営業・調達・製造・情報システムなど、社内の各部門に存在する「組

織の壁」を越え、データとオペレーションを横断的に統合する体制づくりが不可欠です。

■ 番組内容

本番組では、業界をリードする実務家・有識者が集い、CLO 主導による組織変革のリアルや、推進に必要なデータ活用・テクノロジーの在り方について議論しました。

主なディスカッションテーマ

- ・CLO の役割: 物流部長との違い、担うべき機能
- ・CLO に必要な社内体制: 権限設計や会議体の構築
- ・物流の中期経営計画: 着手ポイントとロードマップ化
- ・物流データの可視化: 荷待ち・荷役・積載率・物流費などの見える化手法・倉庫見学

■ 登壇者(敬称略)

- ・ 佐川グローバルロジスティクス株式会社 コンサルティング部 佐々木 朋幸
- ・ 株式会社ローランド・ベルガー 小野塚 征志
- ・ 株式会社リンクス 代表取締役 小橋 重信
- ・ 株式会社アイディオット 代表取締役 井上 智喜

本シリーズは今後も順次公開してまいりますので、ぜひご期待ください。

当社は今後も、物流の未来を見据えた情報発信を行い、業界発展に寄与する取り組みを進めてまいります。

※: CLO(Chief Logistics Officer): 企業の物流部門を統括し、物流効率化を推進する責任者。

SG ホールディングスグループは、純粋持株会社 SG ホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

<報道関係お問い合わせ先>

佐川グローバルロジスティクス株式会社 経営企画部 広報課
tel:03-3768-8523 mail:sgl-pr@sagawa-logi.co.jp